

# 士郎正宗

GUN ACTION  
2003 UPPERS No.9  
BOOKLET POSTER  
COLLECTION XII



以前、柔らかい薄レースのパンティを着用時「シリルは下着無しでゲルの講義をしている」と叱られたので、純白パンティを穿いて何気に見せている図。若干背もたれ気味な所に別の意図もあるようだ（何か嬉しそうだし）。





# CAST A NEUTRALIZING SPELL

050-6220181F 050-6220181F 050-6220181F

POSTBOX 1888

THE POLICE DEPARTMENT  
OFFICE BUILDING

001

002

003

004

005

006

007

008

009

010

011

012

013

014

015

016

017

018

019

020

S.S.A.T. POLICE

001

002

003

004

005

006

007

008



00004-02







テラフォーム火星で人類が生息するには、地球上では想定しづらい程の大規模自然災害を制御できなければならない。また、大気成分の微妙な差違により生じる様々な「地球と異なる腐食、爆発、健康障害などなど」にも対応が必要になる。微小生物の変化にも細心の注意が必要だろう。更に、火星の土中に眠っていた細菌などもあればコワイ。移住最初の500年くらいは宇宙空間と同じだと思って、あまり無邪気に外出せず慎重に様子を見たほうが良さそうだ。って事は単車は水素内燃じゃなく電動？（つまらないが仕方ない）。一番発達していそうなのは、重力の違いから来るタイヤや靴底の素材かな。メカが皆重めになるなら制動関係の冷却もハードになるか。どのみち火星での暮らしは海洋中心なので単車の地位はバギーやジープよりかなり低いだろうが……。火星の雨や霧は地球とどう違うだろうか？ 火星のオリンピックは？ シリルのボディラインは？





# 士郎 GINA ACTION BOOKLET POSTER COLLECTION 正宗

## LIMITED USES

1. In close fighting
2. Throwing to kill
3. A sublimed act
4. Strike on the head

FILE-20020024

## DEFINITION

「GALHOUND」は、例年予定の無い単行本である。彼女は最近地球から大船「ヘスベリア」地方の内陸都市へ移住してきた「人獣」で、大型機械軍団の機体や兵器に魅かれている。特別な能力などは無いのだが、「虚無界の魔術」である父の人間などと共に色々冒険と盛り

満足を余興くされている（軍民間の関係もその中心にしている）。武器はアラフォームなされているが、重力や大砲、宇宙銃、雷撃器、特殊兵器など地球と異なる軍機がある。大船よりもカタルト系の経営設備が生じたが、特殊タイプの武器もある。



**GALHOUND**  
SHIROW MASAMUNE



# FILE-20020626

「GALHOUND」は普通のSIFで、主人公に人前でミニをたくしおけたり膝を開いたりする露出癖は無いのだが、この場に限りサービス付き。アニメだったらちょっと座り直す様なしぐさで、柔らかな肉質感を演出できるのだが。



「内股に小型火器」は邪魔になるだけで隠蔽度も低いと思うが、絵としてはお約束かな…。暗器ならもっと小型が良いが、サイボーグが存在する世界なのでこの程度の口径は必要であろう。本編で彼女はこんな装備をしていないが、もししていたらやはり使用時にミニを剥くのかな？折角装備していても恥ずかしくて使用できないのでは無意味だろう。



FILE-20020628





20020707

火星ではテラフォームと並行して、火星全体を覆う衛星軌道天蓋の建造が自己増殖するマイクロマシンにより進められている。閉じた球面ではなくズレて2層目、3層目へと成長していき、約5層で完了する計画だ。1層目が完了し、巨大スポーツエアドームで派手な祝賀式典が催される日が近づいている。そんなある日、主人公のもとに天蓋でマイクロマシンメンテナンス作業中に行方不明となった人物を捜す仕事がある。その人物は、新世代のマイクロマシンが作業効率の落ちる旧世代のマイクロマシンと作業エリア分配などでたびたびエラーを起こすので調査中だったらしい。新世代マイクロマシンは旧世代を一掃して作業した方が全体の計画達成率が高いと計算、旧世代をゴミとして排除にかけ、対する旧世代も新世代を「作業の障害」として排除活動を開始する。主人公は、衛星高度で炭素繊維のメッシュを紡ぎ出しながらマイクロマシンの増産工場も兼ねているステーションの一つに行き、天蓋計画に反対している組織による祝賀式典に時期を合わせたテロ（ステーション爆破）に出くわしたり、無許可物見遊山の若者達と遭遇したりしながら、行方不明の人物を捜索する。

テロ屋との戦闘中、主人公は炭素メッシュ上の一角にパズルの様に組み上げられた報告カードの山（サイズ数メートル）を発見する。パズルの中には行方不明の人物がフリーズドライ状態で死んでいる。サイボーグデバイスが稼動しており、マイクロマシン達は彼が生きていると認識、死後も報告書を積んでいったらしい事が判る。死因調査も必要なのでステーションに死体を運ぶが、マイクロマシンが作業妨害と認識、主人公を追って集まってくる。中枢制御を騙し騙し、何とか若者達と死体と共にシャトルで降下するがマイクロマシンの「異物排除」に遭いトラブル、事務所の友人の軌道計算に従って間髪バラボールで脱出するが爆発の破片でボールも激しく損傷、祝賀式典の準備で忙しいエアドームに落下して九死に一生を得る。

てなお話だが、制作予定が無いので細かい部分は詰めていない。火星の空に見えるであろう地球やフォボス&ダイモスのサイズや明るさ・色などは何も考えずに描いた。大体、惑星を包む天蓋ってどんなサイズだ…?! けれど

大気の拡散や微粒子、宇宙線などを防ぐにはいいかもね。どうせ妄想だから面白ければOKなのだが…。一昔前までは惑星規模での仕掛けなどナンセンスと笑われるだけだったが、近年この地球環境の変わり様を考えるにテラフォームなんてのも皆でよってたかれば意外に容易かもしれない。巨大施設単体で考えるから大変な時間と費用がかかるのだ。地衣類などの植物やマイクロマシンを利用するのもいいが、街中を大量に走り回っており皆の家にもある「好人環境破壊機」の方が強力な事を思うと、何か似た様な「優良呼吸製造機」を考え方が良さそうだ。地球環境に優しい（人間や近縁種にとって好ましい環境に優しいの意味だろうなあ…）エネルギー技術などは、地球では重要だが、他惑星では「環境を破壊する技術」の方が人類に役立つかも知れない。もっとも他惑星の環境を人類が住める様に破壊・改造して良いかどうかは別問題としてあるのだが。

上手く火星をテラフォームできたとして、しばらくはひどい粉塵や荒天、大規模な地盤の陥没などが起こって住み難いかもしれない。北半球は巨大な海になるらしいから、利用法を考えないとね。意外と陸上よりも水面上（海中）の方が住みやすい環境かもしれない。地形を切り崩していっそ地表のほとんどを海面にするのはどうだろうか（自分個人には無関係なので無責任の上無知考え）。





# GALHOUND



CHARACTER

## 3

CHARACTER

父親と母親に虐待が  
 続てゐたため、幼少  
 の頃に施設で育った  
 彼女。ある日、施設  
 内で出会った少年と  
 恋をした。  
 少年は彼女がまだ  
 少女でないと、セリ  
 ュアリング（セリ  
 ュアリング）は  
 ない。と強いてサ  
 イを刺す。二をい  
 ちめて、二人は、







20020828  
SHIROW MASAMUNE



密輸防止身体検査名目の「お楽しみ」か、隠して本部に持ち帰ったコンテナの排出作業だろうか、「抜き取り検査室」という題を一応付けておいた。どのみち検査官達は大抵と時間をかけて作業を楽しむつもりらしいし、シリルに抵抗意志も無さそうだ。不必要に太長い摘出棒が、ここがどういう部屋かを表している。

20020825  
GALHOUND  
SHIROW MASAMUNE





GALHOUND  
20020831  
CRIMINAL MACHINE


そのままの格好で  
外に出ないように！

それと  
いつまでもお尻を  
開てまわさないの！

あーこも  
レディ  
ブルックリン

『GALHOUND』のタイトルは耳慣れ無さで付けたのだが、何だか事実に GALHOUND のな内容になってきた。この手の絵が嫌いな人には申し訳ないが、これもまた主眼正解だと思って報告してね。横断のコマを並べるとお尻があるかのように見えるかもしれないが、何も無い「各ショット置換も寄せ見の」で済めたいと思っている。あるコマはイラスト仕様のタブ、あるコマは小細作純粋のキャラ未使用タブといった具合だ。半ば数年間予定されている作品の中にならういったシーンがほとんど無いので、ここでもサブ画像からこの手のものをまとめて提出してしまおうという流れ、これはこれで何となく楽しめると。楽しとしてね。この『GALHOUND』2 回目では、たり物や放射物などもノタロで描くのが面倒っぽい要素を中心に、お尻をアースにコマを留めてみた。上手くつながらなかったものや、座っているタイプはまた別の機会に。よく報告してくれる方もあるだろうが、僕はこれまでスラング系のガンを描いてこなかった。設定上、肩立たない方が好きな内情のお尻が多かったからだ。スラング系系のガンに尻肉の要素を見せなかったからではない。尻や尻肉など無い世界の方が良いに決まっているが、その事と「知るかどうが」とは別問題であろう。





また貴方ですか  
レディ・ブルックリン！  
倉庫の資材は無許可では  
持ち出せませんのよ！

あッ！

えんっ  
そ、そんなに  
いけるかな♡

警備ロボットを  
なめていますね！  
この周辺が怪しい事  
くらい判ります！  
抜き取り検査室へ  
行って貰いますよ！

20020913  
20021017

一般的に最後のセリフは「そ、そんなにイったら壊れちゃうよ」だろうか。文意が否定的なのと直接的すぎると思って避けた。「そんなにイってる」絵的な描写もここでは無いしね。





GALHOUND  
SHIROW MASAMUNE  
20020908  
20021010  
20021012

BIO-GELATINOID  
SUPPORT SYSTEM  
CHAMBER

DO NOT

保管倉庫自体はそう広く無いが、フロアの大半がガラス張りで見通しが良く、休日で人の気配が無いぶん余計に音や声もよく響く。しばらくの間、警備員が巡回してこない遊び場所はないかな…と考えている内にバルブが弛んでか、シリンダーから溢れ出てくるセラチノイドの図





## 20020826

シリルと遊んでいる内に何となく人型っぽくなってきたセラチノイドの回。何本かのシリンダーが開封されて融合した様なサイズだ。倉庫の一角にある検査室だろうか。シリルの装備品が他と若干異なる事や背景の丸いもの（CTスキャナーっぽい？）などから御存じの方はおわかりと思うが、20020826は元クリフオンラフの一族だ（わからない方は画集「INTRON DEPOT」を参照）。顔は別キャラだったので作り直した。ほとんどの方にはどうでもよい事だろうが、J字型のフックが上手く出来たのがちょっと嬉しい。天井やコピー機は「攻殻」から、金属のトレイや器具（何の？）は「邪神」画集準備物から持ってきた。床の小型セラチノイドがあまりに下品なので描くか否か迷ったが（無い場合、トレイに反射しているキャラの秘部をいかに隠すか考えなければならない）、思い付いてしまったものは描かずにいられないので描いた。もっと動きがあった方が良かったかな？床タイルが透けて見えてしまっているのは単なるミスだが、まあいいや。シリルの表情は何度か作り直したが、あまり良い出来にならなかった。セラチノイドは最初、疑似コースティクスで虹を走らせて綺麗に仕上げようかと思っていたが、メッシュ状の繊維構造が透けて見えている方が画面がごちゃ

ごちゃしないしなんか生物的でいいかなと思いついた。もっとシンプルな背景の方が良かったかな？

横の多脚メカは、倉庫の警備ロボットである。施設の監視カメラだけでは死角が多いので、こうした自立歩行ロボットが複数、常時倉庫を巡回している。「ここが視覚センサーですよ」と言わんがばかりの（しかも無意味にデカイ！）目はいかげなものかとも思うが、カタめの設定をする内容では無いのでこんな感じだろう。もっと下品系のデザインにするてもあったな。

この後どうやってセラチノイドをシリンダーに戻すのかな…？





20021027











BIO-GELATINOID SUPPORT SYSTEM CHAMBER

「シリルと床の反射」の重ね合わせが趣向だったのだが、床テクスチャがシンプルで無かった為に画面左上の重い絵になってしまった。この絵は、シリルの縮退が施設内によく響き渡った為に駆けつけた警備ロボットの視界である。映像は警備記録として残されるのかな？ 警備主任は彼女の「女ともだち」なので〜という事にしておこうか・・・

この後、警備ロボットが部屋を封鎖。ガスで電気ゲルを床下のシリンドーに追い込んで元通りに密閉する。電気ゲルがどれくらい硬くなるか或いは柔らかくなるか、「シリルの肌のみぞ知る」だな。この件が原因で、電気ゲルが皮膚などの老廃物を分解吸収する事が判り、以後ホディケア商品として〜等という事は無いだろう。



# 士郎正宗

GUN  
ACTION  
2003 UPPERS No.5  
BOOKLET POSTER COLLECTION IX



GALHOUND  
SHINOW MASHIMU  
20021014

休日の遊びが女友達の仕事都合で潰れて、つもりをしていた身体を持て余すシリル。腰がどうしても落ち着かないので、以前捕獲したゼラチノイドの保管倉庫にでも行って遊ぼうかな…などと思い付く一瞬前の図。





20021122

20021121



火星に、或いはこの時代に男性はいない（または極度に不足している）のだろうか。それともベランダの忍び返しがよほど具合良いのかな？（勿論ベランダの外側にも足場があるのだろうか。危ないのにマネしないようにね・・・誰がするか！）。残念ながら僕の僅かな技量では、彼女の遊しい寝使いや首を（この方法で）描写しきれないが、不足は読者諸氏の想像力で補って頂きたい。

環境改造後の火星かどの様な荒天になるか想像できないが、こんな事が出来るくらいなら全くもって万事めでたした。シリルかどれくらいの間コンタクトロッドを扱き続けたかは空に光る地球に聞いてね。





イリスはマリナほど優しくなくアーニャの様に豪快でもなくロンヌみたいな激しい攻撃性も無いが、長時間飽きる事無く楽しく遊ぶには一番だ。口数が少なく結構高圧的だったりもするが、年齢が近いのでシリルも親近感を抱いている。イリスは独占欲がやや強いせいか「猫じゃらし会」とはちょっと距離をおいてシリルと接している。遊ぶ時も周辺の安全確保に気を配ってからだったり、物音に敏感だったり、プロの長距離探偵らしい側面が垣間見られて、シリルの考えている探偵というものに一番近いのもこのイリスだ。現場で情報収集や浮気調査など探偵らしい行為はしないのだが、それでもシリルにとって「格好良い先輩」である事には変わりはない。ベッドみたいなものはアーニャが改造した「スポーツ用リング」で、ラバーシートが緩やかに張ってある。本来は格闘技の型を練習する為の器具だったらしいが、今や別のスポーツ専用となっている。シリル

はこのリング上で、猫じゃらし会のおねーさま方に見守られる中、かなり恥ずかしい行為をして燃えたりした事もある。モーションローションは粘性の低いものを粗密織り交ぜて使用。好ましい爽やかな香りと、肌にちょっとした刺激的な感触があり、新人歓迎パーティのツイスターゲームで、猫じゃらし会（又は猫気）のある人物を選別するのに使用される怪しい液体だ。美容機能もあるとかいうが真実は定かではない（てゆーか無いだろう）。シリルもかつては身体の制御が上手くできずに、滑って頭をボールにぶつけたりしていたが、今ではすっかり滑り方も心得て「猫じゃらし会」で最も人気の（？）テクニカルキャットである。火星に来るまでは、お嬢様学校で勉強ばかりしていた優等生タイプ（成績はまあまあ）だったのだが…元々そのケが潜伏していたのだろうか、それとも火星に来て肉体的な優位に立って秘めたる欲望が解放されやすくなったのだろうか。



# GALHOUND 2

士郎正宗 SHIROW MASAMUNE

GALGREASE 006

GALHOUND

2

20030818

SHIROW MASAMUNE



新入社員用の基礎戦闘訓練施設にて、数日間のハードな居残り特殊訓練の後、さすがに足腰その他がへろっているシリル。この訓練より後、非常勤講師のロンヌと「猫じゃらし会」の仲間達は、気の向いた時に「お気に入りのシリル」を一人だけ呼び出しては心ゆくまで特殊訓練を行うようになる。勿論、射撃や索敵、特殊機器取り扱い等が主たる訓練内容なのだがシリルの興味はもっぱら「塹壕虫」や「捕虜訓練」に注がれている。





GAL HOUND  
WIDOW MASANO  
20030715







おん  
そうゆう訓練  
すに女さ  
かも

何れ共捕まて  
何日も昼夜通し  
無茶苦茶に  
犯されまくる訓練

今日はもう  
戦闘訓練  
続けなくて  
いいんですか?

ってのは  
どう?

えっ いやあの  
「くんれん」で  
殿方はちょっと

飢えてる男共  
一個中隊ほど  
召集するのと  
専門のお姉様方と  
どっちが燃えそう?

あー こすろンヌ  
男じゃ物足りないって  
ほとんど未開発の仔猫発見!  
調教フル装備で集合せよ

描しやらし会  
全員に連絡

嬉しそう顔  
するんじゃないの

MANSILHOUE  
DEPOT

可愛い声  
聞にえた?  
一足お先に  
吟味してるから  
以上.

おん

尻だけやル気の  
せにタイキ  
言わない!!





セボットGH2-20031021SB/通称「壱塚虫」は火星開拓時代初期に投入された建材修復用自己増殖ロボットである。このサイズクラスのロボットは摩擦や粘性や流体性など考慮すべき物理法則の割合が、大型の産業ロボット等やナノボット等と異なる為、区別する意味でセボットと呼ばれる(正式名称や商品名では無く俗称)。1センチ前後なので通常の日常生活で気になる事は無い。小グループで一定のエリアを担当し、外壁や構造物が破壊すると破片を集めたり樹脂供給セボットと協力して破壊箇所を修復するのが仕事だ。この時代になっても、この様な訓練所では弾痕等を修復する為に200キログラム程(約1200~1300体)が使用されている。破壊の有無を調

べてうろついているセボットグループが時折、待機や待ち伏せ行動をとっている人物に対して「間違った壱塚探索」をする事があり、シリルは何故か度々それを体験する(のだそう)。そう遠くないどこから居残り訓練の銃声やドアを蹴破る音が聞こえて来る中、壱塚虫探しが続く。電磁管棒は当然、健康器具レベルに出力を下げて使用しているのだが、そのせいだろうか壱塚虫が出て来ない。おそらくこのまま壱塚虫が発見される事は無いだろうと知りながら、シリルの反応に合わせて微妙に出力を上げつつあちこち探索するロンヌの図。シリルが銃を握ったまま(しかも引き金に指が!)なのは、空だからなのかな。



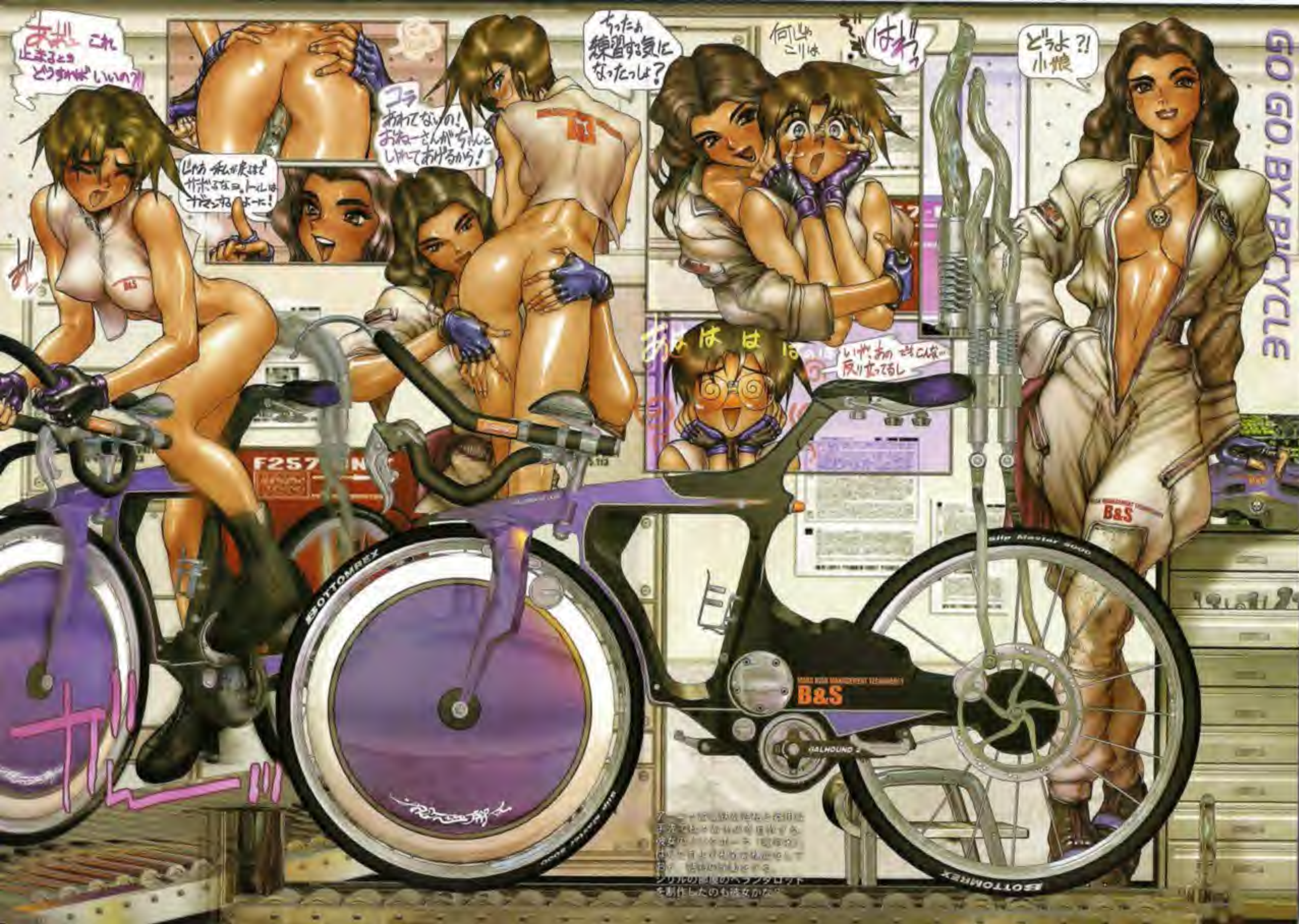








GO GO BY BICYCLE







20030129

居残りで救助訓練を行うシリルの図。プールの中では定刻通り、底面掃除ロボットや先端部がカメラの配管掃除ロボットが活動を始めている。赤っぽい人型は仮想観望している人「レッドマン」である（軍、警察業界で知られる商品のレッドマンとは無関係）。本来「救助すべき危険な状態にある人」の意味だったが、最近では「波浪警報の出ているような危険な日に釣りなどに出かけるアブナイ人物」の意味で呼ばれている。結構重いのでこのように浮い

た状態にはならないのが構図上こうなった。よく似た趣旨のものは実在するが、より実践的な訓練をするために首や脇に腕をまわらせるよう、ややリアルな形状をしている。配管掃除ロボットは本来無人のプールで、掃除すべき配管の入り口を画像コントラストで探すが、「邪魔者」がいると混乱するようだ。ロボット達が関心を示している対象は、シリルが連想しているような箇所ではなく、頭や手足の黒ラバーなどが持つコントラストに過ぎない。



シリルは財泳の専門家ではないので、スタート時、大背筋がきゅっと締め止まって、一瞬後援む事で周辺一帯の筋肉が揺れるのだが、残念ながら彼の静止間接では揺るぎないのだ(笑)

## MOTION LOTION

地表の大半が海と化した火星では、地球とやや助手の違う「水泳」や「ダイビング」が重要だ。シリルの勤める探偵社でも目前のプールと教室があり、彼女は同期の十数人と共に研修教育を受けている。シリルはこの教室に連れて来たり居残ったりする事が多い。指導してくれる先輩と共にプールを独占する為だ。先輩のマリナ・ハヤミもシリルに色々「特別授業」する事を毎週の楽しみにしている。

レディ ブルックリン  
まあ遅れて来たな！  
ちゃんと鍛えなきゃ  
だめだよ

えへ

フィンスイムが一通り終わると、マリナはUV対策だとかマッサージだとか理由をつけてシリルの身体を撫でまわすのがパターンだが、今日はいつもより気合いが入っている様だ

こらこら！ 力抜いて  
じっとしていなさい！

そ、そんなこと  
言ったって  
ちょっと水着の  
具合が・・・



